

【フレキクランプ 取扱説明書】

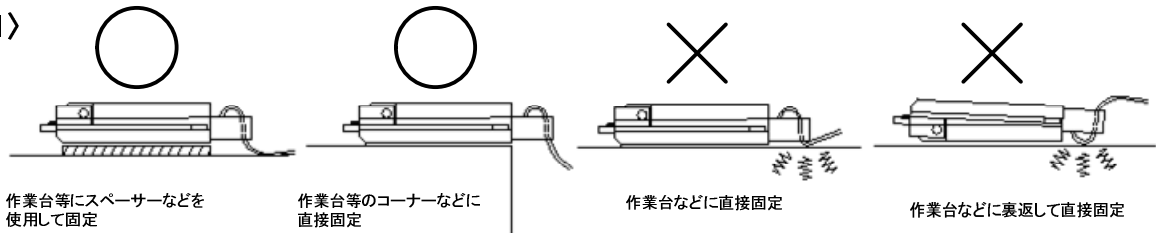
I. 取扱い上の注意

- フレキクランプ(以下クランプ)はフレキシブルケーブル(以下フレキ)を使用した電気機器の性能検査などの際に使用する、クリップ型コネクタです。それ以外の使用においてのトラブルは、弊社では一切責任を負いかねます。
- 本器は精密機器です。取扱には十分ご注意ください。
- 落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。変形、故障、破損の原因となります。
- 使用中に煙が出たり、異臭がする、発熱しているなど異常が起きたらすぐに使用を中止してください。

II. 使用環境について

- 高温になる所、極端に低温になる所、湿気、ほこりの多い所では使用しないでください。変形、故障の原因となります。
- 不安定な台や傾いた所に置かないでください。落下して破損の原因となります。
- 本器を固定して使用する際には、弊社推奨の固定方法で固定してください。(図1参照)
- FXシリーズをご使用いただく際に正しい方法で固定しない場合、外部ケーブルが固定台などと接触し、断線、ショート、接触不良が発生する可能性があります。
- FXシリーズをご使用いただく際に作業台等に直接固定しますと、フレキ挿入時に外部ケーブルが作業台に接触し、クランプの挿入口が完全に開ききらず、フレキが挿入しづらい場合があります。

〈図1〉



III. フレキ挿抜時の注意 (※重要事項 必ずお読みください)

正しくお使いいただけない場合フレキ損傷、導通不良、電極基板の損傷が発生します。

- フレキ挿抜の際は、クランプの挿入口を完全に開いた状態にして、入口ガイドに沿ってフレキを挿抜してください。
- クランプの挿入口を開かずにフレキの挿抜を行わないでください。**←これだけは絶対に避けてください！**
- フレキをクランプに挿入する際は斜めに挿入しないでください。
(電極基板(以下基板)と平行になるように挿入してください。基板とフレキの傾きが大きいほど誤挿入の可能性が高くなります。)
- フレキの挿入角度は入口ガイドに沿って、水平に所定の位置まで確実に挿入してください。
(入口ガイドに反した方向で挿入しますと、基板へのダメージを与え接触不良の原因となります。)
- 挿入するフレキの先端部は曲がり、折れ、反りなどのない状態で挿入してください。
- フレキ挿入時に引っかかりなどの違和感を感じた場合は、挿入を中止して一旦抜き取り再度挿入してください。
- 表面に汚れや傷のあるフレキは使用しないでください。

IV. メンテナンス方法

クランプは構造上、定期的なメンテナンスが必須となりますので、専用のメンテナンスキット(納品時に付属)を使用して下記手順で実施してください。(メンテナンスを実施せずに長時間使用すると接触不良の原因となりますので、ご注意ください。)

【1】クランプ本体のキャップスクリューネジ2本を外します。分解時にネジやバネなどを紛失しないようにご注意ください。(図2参照)

【2】基板電極部の汚れを確認します。(図3参照)

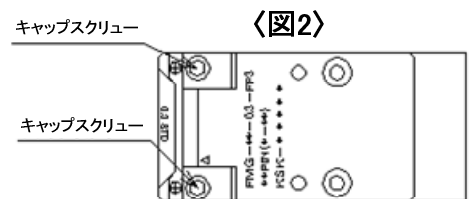
電極部が汚れている場合は、電極部の汚れを除去してください。電極及び電極間の隙間の汚れを清掃することにより安定した接触が得られます。
フラックスなどで汚れが固着している場合は、接点洗浄剤(RC-S201)やオーバーホールクリーナー(Z-294※1)などを使用し、メンテナンスブラシでのブラッシングをお奨め致します。
(電極を痛める原因となりますので、硬質ブラシなどを使用しての清掃は行わないでください。)
ブラッシング清掃後、エアーでゴミ、ホコリを吹き飛ばすと更に効果的です。
極度に固着している場合は、上記薬剤に浸した後にはブラッシングを行うと効果的です。

【3】基板を本体に戻し、組み立ててください。

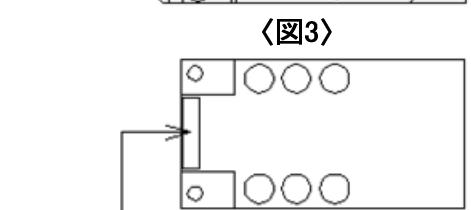
組み立てる際には、ガイド穴、基板穴、ねじ山などの破損にご注意ください。
キャップスクリューを強く締めすぎるとガイドが変形し、最悪の場合フレキが挿入出来なくなりますのでご注意ください。規定トルク 40cN・m。※2

【※1】上記洗浄剤以外を使用した場合のトラブルに関しましては、責任を負いかねます。推奨品につきましては、ホーザン様、サンハヤト様の製品となります。

【※2】弊社推奨トルクドライバ:RTD60CN(東日製作所様製)



〈図2〉



〈図3〉

基板電極部

V. 保守について

クランプを安全且つ長くご使用頂くために、保守部品のみの販売をしております。クランプの部品が劣化(消耗)したり、破損、紛失した際には、弊社またはお近くの販売店に直接お問い合わせください。部品交換を実施する際には上記【3】を順守して実施してください。誤った組立・使用方法が原因で発生するフレキへの損傷は、弊社での責任は負いかねますので、ご注意ください。

フレキクランプは(株)システム計測の登録商法です。

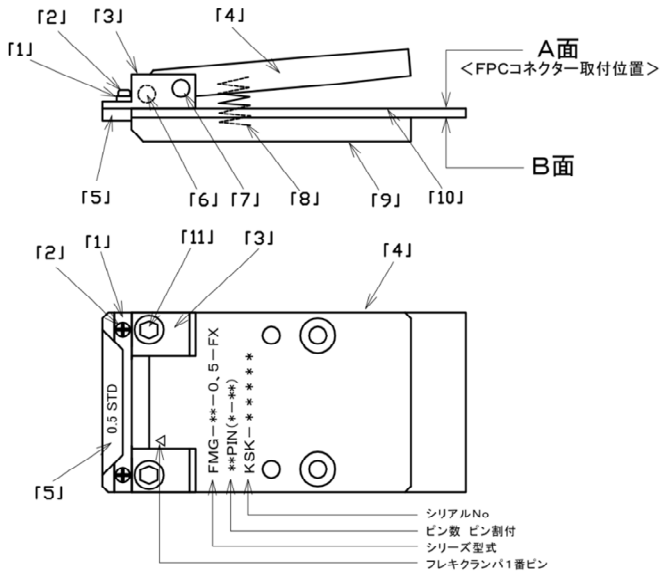
★★★最新情報におきましては、弊社ホームページをご覧ください。★★★

★★★製品の仕様は予告無く変更する場合がございます。ご了承ください。★★★

★★★ご不明な点がございましたら弊社または、お近くの販売店までお問合せください。★★★

<FMGシリーズ各部名称及び型式>

※FCCシリーズは【 】内を参照



[1] ガイドカバー	FMG-**-GC-C	【FCC-**-GC-C】
[2] M1.4ネジ	M1.4-5-NS	
[3] ガイド	FMG-**-G	【FCC-**-G】
[4] クランププレート	FMG-**-CP	【FCC-**-CP】
[5] ガイドベース (*1)	FMG-**-GB	【FCC-**-GB】
[6] クランプゴム (*2)	**ピッチ **ピン用	
[7] シャフト	FMG-**-SH	【FCC-**-SH】
[8] バネ (*3)	WH5-10	【SWF6-15】
[9] ベースプレート	FMG-**-BP	【FCC-**-BP】
[10] 電極基板	FC***-出力形式(FX/FP/DS)	
[11] キャップスクリュー	M3-8	【M3-10】

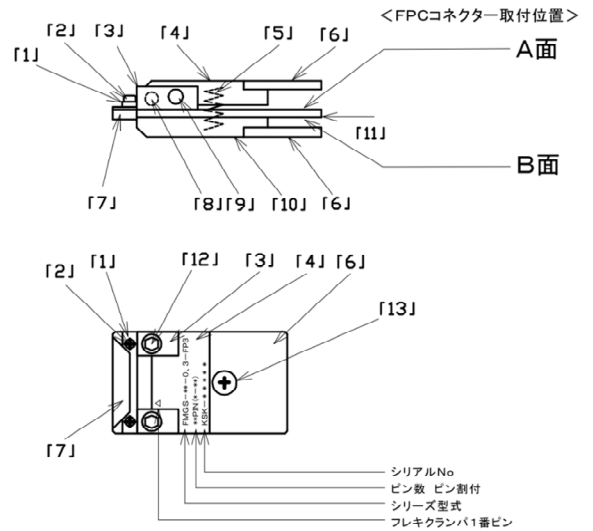
**部分は、各シリーズで異なります。販売店にご確認ください。

(*1) FMGシリーズのガイドベースは、各ピッチによって取付方向が異なりますのでご注意ください。
下部使用方法を参照ください。

(*2) FMGタイプは、クランププレートへ接着剤を使用して固定。FCCタイプは、はめ込み固定。

(*3) FMG-50/FMG-60/FMG-81/FMG-101/
FMG-30-1.0/FMG-20-1.25/FMG-60-0.4の場合 WB5-10

<FMGSシリーズ各部名称及び型式>



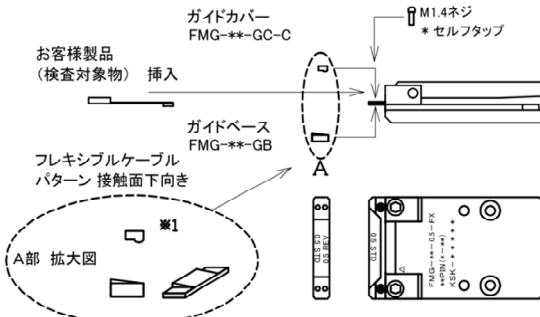
[1] ガイドカバー	FMGS-**-GC-C
[2] M1.4ネジ	M1.4-5-NS
[3] ガイド	FMGS-**-G
[4] クランププレート	FMGS-**-CP
[5] バネ	WB4-10
[6] コネクタカバー	FMGS-**-CC
[7] ガイドベース	FMGS-**-GB (注)
[8] クランプゴム	**mmピッチ **ピン用
[9] シャフト	FMGS-**-SH
[10] ベースプレート	FMGS-**-BP
[11] 電極基板	FS***-出力形式
[12] キャップスクリュー	M2-8
[13] M2.5皿ネジ	M2.5-4

**部分は各シリーズで異なります。販売店にご確認ください。

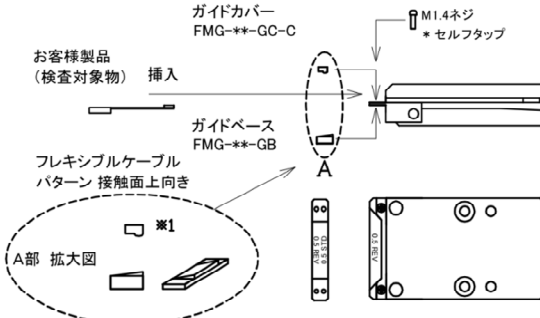
(注) FMGSシリーズ・ガイドベースにつきましては、各ピッチによる
STD/REV使用時の取付面指定はありません。

<0.5 / 0.8 / 1.0 / 1.25 mmピッチシリーズ ガイドベース、ガイドカバー使用方法>

<STD使用時>



<REV使用時>



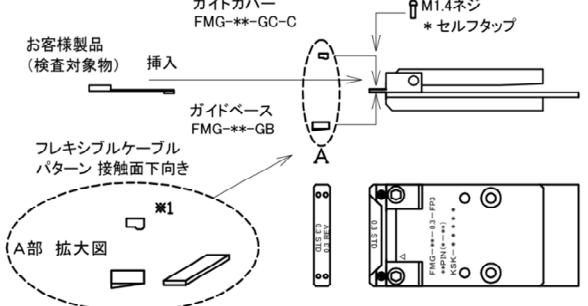
※1.ガイドカバーの突起は、挿入性向上の為に設けております。

逆向き(突起部を上)に取付で使用される場合は、お客様にて挿入性をご確認の上ご利用ください。

また、FMGSシリーズのガイドカバーに突起はございませんので、ご注意ください。

<0.2 / 0.25 / 0.3 / 0.4 mmピッチシリーズ ガイドベース、ガイドカバー使用方法>

<STD使用時>



<REV使用時>

